

(会議の経過) 第2回山崎南中学校区 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	※3. 学校規模適正化・幼保一元化推進に関する市の基本的な考え方について、資料説明及びDVD視聴
委員	事務局の説明とDVD視聴で少しは理解できたのではと思う。学校規模適正化と幼保一元化は別に考えないと話が前に進まないと思っている。学校規模適正化については共通理解できたのではないかと感じる。意見があれば自由に出していただきたい。
委員	今ある幼稚園、保育所をすべて認定こども園にするということか。
事務局	幼稚園は就園率が下がっており、逆に保育所はニーズが高まり、定員を超えている状態だが、市全体で考えると子どもが少なくなっている。現在、宍粟市には16園の幼稚園、5つの公立保育所、9つの私立保育所がある。これをすべて認定こども園にしても、子どもの人数からすると成り立たないことが想定される。幼稚園、保育所を1つにしていくことで施設の数減っていくことになるだろうが、今あるすべての幼稚園、保育所を一律に認定こども園にするということではない。
委員	千種では、民間保育園が1つ、公立幼稚園が1つで、それを1つの認定こども園にということ協が進んでいるが、山崎の場合は公立も私立もたくさんあり中学校区の中にも複数ある。山崎で認定こども園を作る場合、民間保育所がすべて参加するわけではなく、認定こども園に移行しない園も出てくると思われる。そういう場合、こども園の定数はどう考えているか。こども園と民間保育所が並列して成り立つようなことも考えているのか。
事務局	認定こども園の認可を取るにあたっては、保育・教育の人数的な必要性やバランスについて、あらかじめ県と市で協議をする必要が出てくると考えている。保育所そのまま残る園もあれば、認定こども園になる園もあることは想定している。県の認可のこともあるが、その辺りのバランスを加味しながら進めていくことになると思う。
委員	前回の会議で、民間でできることは民間でと言われたが、すべて民営でという話なのか、公立も1つか2つ残して、他は民間でということか。
委員	私立とするのか公立とするのかということ協しだと話が前に進まない。ただ前回、市からは認定こども園を民間で進めたいと考えているとのことだった。私立か公立かは一長一短あり、意見が分かれてくると思う。
事務局	今日は、まず幼保一元化の必要性があるかどうかの議論をしてもらいたいと思う。民間でできることは民間でというのは、民間にすべてまかせてしまうということではなく、ある程度の基準をクリアしてもらわないと担い手になってもらえない。大切な幼児教育・保育の部分であり、市としての基準を示していく。単純に民に任せるのではなく市としての基準を持った上で民間にできることは民間でということ進めていきたいと思っている。
委員	宍粟市の年間出生人数が300人程度ということだが、施設が30か所だと1か所あたりの子どもが10人位になる。認定こども園の前にその現状をどうするのか、少子化をどうするのか考えてほしい。
事務局	地域により子どもの人数は違ってくるが、市全体として0歳から5歳の子どもたちが少なくなっている。他の中学校区で既にかなり少ないところもある。少ないままではダメだということで就学前の子ども達の環境を整えていき

	<p>たい。幼稚園、保育所、たくさんある施設を市全体で10年かけて9か所程度に集約していこうという計画。教育委員会としては子どもの少なくなっている所から優先的に進めていこうとしている。山崎南中学校区も子どもが減ってきているのは同じで、将来を見据えて山崎南中学校区としてどうして行くかを一緒に議論していきたい。</p>
委員	<p>地域の実情に応じた対策を考えないといけない。幼稚園から小学校に入る段階で同じ市内に引っ越すケースもあり、想定より人数が減ることもある。少子高齢化が急速に進んでいる現状は認識しておかないといけない。</p>
委員 事務局	<p>認定こども園にしていくことについて、民間の保育園とは調整しているのか。民間保育所部会で市の考え方を示しているが理解は十分でない状況。市としては今のままでは少子化に対応できないと思っており、それに対応する1つの手法として認定こども園を進めていきたいと考えている。基本的に質の良い保育・教育をしてもらえる社会福祉法人に担ってもらいたいと考えている。すべて公立で担うことになると、民間に地域から撤退してもらうことになる可能性もある。そういうことも含めて、民間にできることは民間でと言っている。保護者の方が心配される教育保育の質は、担い手と相談して話を進めていこうと考えている。</p>
委員	<p>私立・公立は抜きとして、誰でも預けることのできる施設をいらないという保護者はいないのではないだろうか。自分たちの地域でも、回りに同世代の子がいなくて、遊びたくても近所の子と遊べないことがある。安心して預けられる施設があるということはまず第1だと思う。少子化といわれるが、相生や赤穂は子育て施策に力を入れ、若者が増えている。保育園、幼稚園の先生も認定こども園自体に反対はない。問題は運営方法だと思う。前回から思っているのだが、この委員会に教育現場の方がいない。小1プロブレムをどうするかのほうが先ではないか。そういったことも含めて話をしないと、素人ばかりで話をしてもどうかと思う。</p>
委員	<p>最初の話で、地域の委員ということで現場の先生はいれないということだった。素人集団の方が斬新な案が出ることもある。先生たちはそれぞれの立場もあり発言しにくいこともあるだろう。</p>
委員	<p>話し合う中でどんな学校問題があるのかということになったときに、先生に参加してもらって話をしてもらいたいと思う。我々では分からない部分がたくさんあるのでそういう時に話が聞きたい。</p>
事務局	<p>事務局には幼稚園、保育所や学校現場を経験している職員もいる。その職員から専門の説明ができると思う。</p>
事務局	<p>小学校に入学してからもじっと机に座ってられないという問題、小1プロブレムは実際にある。ただ、小学校の先生が指導する中で1学期の終わり頃になると慣れてくる。幼稚園から入ってきた子どもと保育所から入ってきた子どもに大きな違いはないと認識している。自由保育がもてはやされた時期はひどく問題になったこともあるが、今は幼稚園でも保育所でも丁寧に活動や指導している。今は好き勝手に困るという事はあまりないと認識している。</p>
委員	<p>城下小学校の場合、2年生は未だに落ち着きがない。幼稚園か保育所かではなく個人の問題なのだろうが。園所をまわると幼稚園、保育園で少し違いはある。説明している時に話しているほうを見るか見ないかという部分。ちゃんと見てくれることは話を聞く姿勢になっているということ。少し違うことが1年生に</p>

	<p>なった時に違ってくるので、その辺を改善していかないといけないのでは思う。</p>
委員	<p>園長や校長など経営に携わっている方へは別に相談されるか、別に協議会などがあって協議をされているのか。認定こども園の問題は宍粟市だけではなく国をあげてのことだと思う。</p>
事務局	<p>校園長会などの会議は定期的にあるが、このためだけの会議はない。どういう状況になっても現状の中でしっかりとした教育、保育をしていこうということを第一に考えられている。また幼稚園長、保育所長で意見交換等はしている。</p>
委員	<p>ただ、全体のシステムの部分、学校園をどうするかは行政の責任と考えている。学校規模適正化と幼保一元化はどちらが先なのか。保育園、幼稚園は統合して、小学校はまた別々というのはおかしい。まずは小学校を1つにしてからなら理解ができる。その点はどうか。</p>
事務局	<p>他の中学校区でも同様だが、学校規模適正化と幼保一元化は同じ時期を提案している。言われるとおり、小学校で別々になると意味がない。同時期か小学校規模適正化が先になる。</p>
委員	<p>小学校は1つとして、幼保は地区で何か所を考えているのか。</p>
事務局	<p>基本的に中学校区で1つと考えている。しかし子どもの人数により、1つの施設が大きくなり過ぎる場合など、状況により複数になることもあり得る。</p>
委員	<p>1か所となると場所は城下幼稚園かと思うが、そうすると狭いということになるが。</p>
事務局	<p>施設や場所をどこにするかは別として、例えば城下幼稚園を使うことになった場合、現状の施設では子どもが入りきらない。保育所の機能に係る施設整備もしないといけない。必要な施設整備についてはしっかり対応していく。</p>
委員	<p>中学校に一番近い施設ということなら城下幼稚園になるのではないか。</p>
事務局	<p>場所についてもこの委員会で議論していただきたい。連携型の小中一貫教育を目指しているので、小学校の場所については、中学校に近い場所と考えている。小学校についても施設整備は必要になると考えている。</p>
委員	<p>中学校区で認定こども園を1か所2か所ということだが、公立同士なら3つを1つに、で整理は容易かもしれないが、民間となると、他から新たに参入してくることになるのか。今の社会福祉法人はどうなるのか。</p>
事務局	<p>長年、保育に携わってもらっている市内の社会福祉法人を中心と考えている。市外の社会福祉法人に担っていただく必要があるかどうかは、これから検討していく話になってくる。基本的にはガイドラインをクリアできる市内の担い手をお願いしたい。保育所そのまま残るところも出てくる可能性はあるとは思いますが、それはその保育所との協議になるだろう。</p>
委員	<p>市としては、4、5歳児については認定こども園に集まってもらいたいと考えている。認定こども園の担い手にならないところは保育所として残ることもできる。まずは地域の社会福祉法人に声をかけることを考えている。</p>
事務局	<p>幼保一元化の話がヒートアップしたが、関心のある証だと思う。国の政策も幼保一元化についてはなかなか定まらないようである。幼稚園を核として保育園機能を付加するのか、保育所を核として幼稚園機能を付加とするのか2通りあるが、保育所が幼稚園機能を付加することが多いのかなと思う。地域の実情にあった進め方、課題なども考えて次回は進めていきたいと思う。</p>
委員	<p>市としてももう少し具体的な案をだしてもらわないと何回集まっても同じだと</p>

事務局	<p>思う。一本化するの時代の流れで仕方ないと思うが、協議のすべてを丸投げされては困る。行政も幼保一元化を進めることは決定しているのだから、我々が否定しても進んでいくのは決まっている。そうならばその案を出してもらい、それについて協議していかないと話が進まないと思う。</p> <p>具体的なプログラムはこの推進計画の大枠の案しかないのが現状である。地域で、たたき台として市の具体的な考えを出して欲しいとのことなら、対応していきたい。少子化が進む中、「平成31年以降に」というのは平成21年当初の計画である。地域や保護者が了解されるなら、適性規模化を平成31年より前倒しすることも考えている。教育委員会としては、子ども達の集団を確保していきたい。計画が平成31年以降だから着手しないということではない。</p>
委員	<p>もう少し、市である程度案を考えてもらって、その後、事務局から日程調整してもらってほしいと思う。適正規模化の前倒しについては別の話で、話としては聞いておくが、地区の感情としては受け入れられないと思う。</p>
事務局	<p>日程調整についてはそういうことで調整させてもらう。</p> <p>この会議について、公開を原則とすること、また、会議録についても委員確認の後、委員の氏名を抜いたもので市のホームページに公開させていただきたい。他の中学校区の会議録等も掲載しているのでご覧いただきたい。</p>
委員 事務局	<p>他の中学校区の進み具合はどうか。</p> <p>千種中学校区ではこの4月から1つの小学校になっている。また、幼保一元化については地域の委員会を4回実施済。波賀は学校規模の委員会・幼保一元化の委員会でそれぞれ2回実施済。一宮は、北中学校区、南中学校区で1回実施済。土万・菅野については9月に1回目が行われる予定。葛沢地域については、委員のメンバーの報告を待っている段階。</p>